

ワークシート——木材の不思議な世界

—さまざまな木材を見てみよう—

()月()日() 名前()

身近な木～割り箸のいろいろ～

割り箸の木材の種類とその特徴

スギ

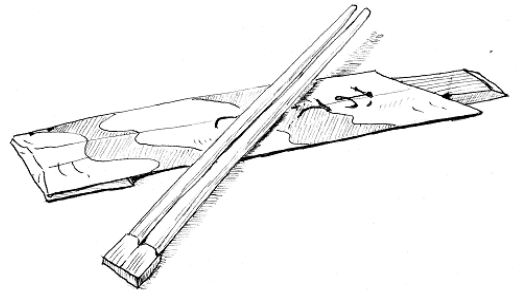
ヨーロッパトウヒ (ドイツトウヒ、ホワイトウッド)

ポプラ

シラカバ (シラカンバ)

ポプラ

タケ



※特徴は下参照

値段の高い順に並べよう

※価格は、2007 年当時のもの (参考)。

スギ

約 20 円

ヨーロッパトウヒ

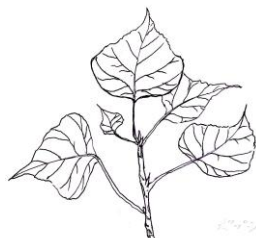
約 3 円

タケ

約 2 円

ポプラ・シラカバ

約 1 円



ポプラ

(ヤナギ科)
枝がまっすぐ上に伸びるのが特徴。
葉はひし形をしている。
防風林として植えられる。

スギ



(スギ科)
建築材用に広く植林されている。
葉は針形でとがる。
球状の実が枝先につく。

どこが似ているだろう？仲間分けをしてみよう

グループ 1（針葉樹）

年輪がまっすぐ、はっきりしている

○ スギ

5つの中で、年輪が最もはっきりしている。大部分が国産で、木材加工の過程で出る余りの部分から作られる。

○ ヨーロッパトウヒ

スギより淡い年輪がある。スギの代用として主にヨーロッパから輸入される。

グループ 2（広葉樹）

無地

○ ポプラ

5つのなかで一番白いもの

この白さは漂白によるもの。中国からの輸入材が多い。成長が早く加工しやすい。

○ シラカバ

材のところどころに細く茶色い部分が

ある。これは昆虫が材を食べた後の治癒した部分。多くがロシアからの輸入材。成長が早く加工しやすいほか、用途が少ないため割り箸によく利用される。

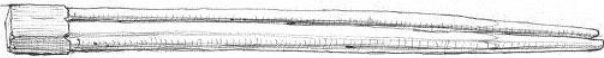
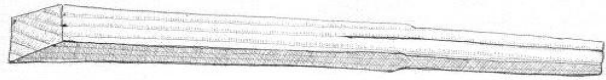
グループ 3

繊維が目立つ

○ タケ

主に中国から輸入される。

加工しやすい。



発展〈木材の話〉 カーボンニュートラル

木材は大気中の二酸化炭素(CO₂)を吸収して成長します。木材を建築や割り箸として利用し、廃棄のため燃やしたときに二酸化炭素が発生します。

もともとは光合成によって大気から吸収されたものなので燃やしても

大気中の CO₂ の総量は理論上変わりません。

木による炭素の吸収、固定、放出、再吸収・・・

という循環では炭素の収支が±0になることから

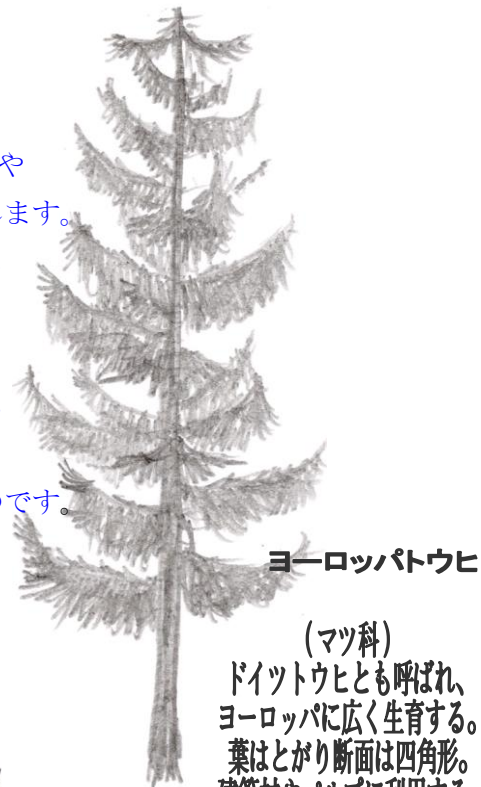
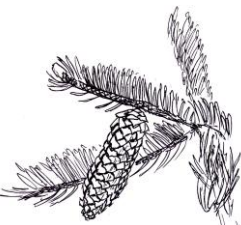
カーボンニュートラルと呼びます。

木材は再生可能な循環型資源ということが出来るのです。



シラカバ

(カバノキ科)
白い樹皮が特徴の落葉高木
雌雄異花で
雌花は上向き
雄花は下向きにつく。
材は民芸品などに利用される。



ヨーロッパトウヒ

(マツ科)
ドイツトウヒとも呼ばれ、
ヨーロッパに広く生育する。
葉はとがり断面は四角形。
建築材やパルプに利用する。